

九条の会

2007・3・23

第85号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

心が通いあった第3回セミナーin 京都

鶴見俊輔氏、有馬頼底氏が講演

「九条の会」は3月17日、「いま語る 9条の心」をテーマに、第3回憲法セミナーを京都市で開きました。セミナーでは「九条の会」呼びかけ人で哲学者の鶴見俊輔さんと、臨済宗相国寺派管長で金閣寺・銀閣寺の住職でもある有馬頼底さんが講演し、質問に答えました。

【鶴見俊輔さんの講演】 私は日本で小学校しか出ていない。でも、ハーバード大学哲学科の学生になった。その頃、都留重人とシュレジンガーの二人と会話したとき、二人は「日米開戦はない」と言い、私は「ある」と言った。結果として私のほうが正しかった。頭のいい二人にしてなぜ見誤ったのか。その後、私はハーバード大の卒業式を迎えることなく日米交換船に乗るが、それ以来、一度もアメリカの地は踏んでいない。これは、私の「不良少年としての一分」だ。私は、日本軍にかり出されていたとき、もう少しのところで拿捕した船の船員を殺す役割を担わされそうになった。その中にはポルトガル領ゴア出身の黒人もいた。当時ポルトガルは日本の同盟国であったはず。

こうした矛盾だらけのことが戦争ではまかり通る。直接手を下していなくても、「私は戦争で人を殺した」と思っている。そして、「私は戦争で人を殺した」。「しかし人を殺すことは悪い」。この二つの言葉を一息で言う。これが私の倫理的理想だ。「私は戦争で人を殺した。しかし人を殺すことは悪い」。

【有馬頼底さんの講演】 小学校しか出ていないのは私も同じ、8歳から小僧さんになった。仏教の教えと憲法とは相通ずるものがある。ブッダの「天上天下唯我独尊」は、赤ちゃんがその生命を渾身の力で主張したものだ。ここにすべての人間の生命の宣言、すなわち人権宣言の思想がある。ブッシュ米大統領が来日して、小泉首相とともに金閣寺で迎えたとき、彼はとても暗い顔をしていた。私が「ブッシュさん、平和が一番ですね」と声をかけると、しばらくうつむいてから「YES」と答えた。彼は、いま世界で一番苦しんでいる男、煩惱（ぼんのう）に苦しんでいる人だ。仏教には、草木悉皆（しっかい）成仏、生命の存在そのものが尊いという教えがある。また、殺すことなかれ、光り輝く生命を奪ってよい

はずはないという教えもある。国民投票法は戦争への道をひらくものであり、9条を変えることはアメリカと一緒に戦争することだ。争いの元にあるのは、心が濁っていること。心の濁りを取り除いていかなければならない。

寄せられたセミナーの感想

◆お二人から、歴史から仏教まで幅広い話を聞いてよかったです。このことをしっかりといろんな人に伝え、9条改憲に反対していきたいと思います。(21歳・男・学生)

◆戦争をしない一殺したくない、仲良くしたい。この普通の願いだけが共通のエネルギーです。アメリカの哲学も仏教も、思いは同じ・このことが改めて力になりました。日本の財産—京都。京都ならではの「人材」(失礼ながら)をどんどん利用しつくそう。(45歳・女)

◆父に連れられて見に来たのですが、真剣に話に聞き入って充実した時間を過ごせました。その時代に生きた人の生の話を聞いて感動しました。特に鶴見先生はところどころ語気を強めて話しておられ、骨の髄まで響いた心地がしました。自分も、日本の世界に誇る宝である9条を何としても守り、二度と戦争をする国にしないため、日本の一青年として何ができるか、何をしなければならぬかについて考えようと思います。(18歳・男・学生)

◆立ち止まり、考える良い機会でした。真野響子さんとの対談集のご本を読んできましたが、やっとうご本人の有馬さんに会えて、うれしい一日。すっきり、はっきり言葉にさせていただき、涙が出ました。心が表れました。仏教の心が、すこし身近に感じ

ました。とはいえ、今の政治には、哲学が消えているのでしょうか。それで国家として胸をはれるのでしょうか。どう回復したらよいか。一人の声は小さいから、やはり束ねて大きくしていかないと。(58歳・女・主婦)

第6回分野別の会交流・懇談会

「九条の会」は3月19日、第6回分野別の会交流・懇談会を開きました。これには11の分野別の会から22人が参加しました。

交流・懇談会では、「九条の会」からこの間おこなった記者会見や静岡、京都で開いた憲法セミナーについての報告、それぞれの会のこの2カ月ほどの取り組みを交流しました。

その中で改憲手続き法案や北朝鮮問題、それぞれの分野にかかわる問題などをとりあげ、会場を東京以外に移すなど創意をこらして学習会や討論会等を開いている報告が、スポーツの会、マスコミの会、歌人の会、詩人の輪、建設人の会、女性の会からおこなわれました。

また、科学者の会や音楽の会では発足2周年、1周年にあたって今後の取り組みについて話し合う集会や記念のコンサートを開いたことが報告されました。

あらためて賛同者を広げる取り組みも、科学者の会、建設人の会、農林水産の会、詩人の輪などから報告され、それぞれの会の共通したテーマになっていることが明らかになりました。

財政問題も共通した関心事となっていますが、9条のシール(建設人)、Tシャツ(スポーツ)などをつくって普及しているなどの取り組みが紹介されました。